

【食育・食材体験】菊の節句、食用菊の花びら摘み体験をしました！

9月9日は重陽の節句「菊の節句」と呼ばれ、中国の重日（奇数が重なる月日）の考え方によるもので、陽数の一番大きな9が重なるめでたい日となります。重陽には菊にまつわるものを多用した「菊尽くし」が喜ばれます。

本校では9月9日、高等部2、3年生の生徒が、食用菊の花びら摘みを行いました。菊の花にはたくさんの花びらがついています。一つずつ指でつまんで、ちぎれないようにひっぱって、ほぐしていきます。細かい作業なので、高等部の生徒に毎年お願いしています。菊の花の香りをかいだり、きれいな花の色を愛でたり、柔らかい花びらの感触を楽しんだり、それぞれ菊の花を楽しんでいました。丁寧にほぐしてくれた花びらは、次の日に「菊花和え」という給食メニューに変身しました。

命を尊び、健やかで幸せな日々が続くことを願う重陽の節句を伝えていきたいです。また、菊を食することで視覚からも秋を感じ取ってもらえたらと思います。



高等部の生徒たちが花びらをそっとつまんで、一つずつばらばらにしています。



給食室へお届け



集まった花びら



菊花和えの完成



和食献立の給食を彩ります